

第3章 東京が果たすべき役割

東京の都市像を描くためには、東京が将来、国際社会や日本の中でどのような役割を果たすべきかを明確にし、その上で、どのような都市を目指すべきかを考える必要があります。

1 世界における役割

(1) 包容力を持ち、多様な人々・文化の交流を育む

東京は、一都三県で人口 3,600 万人を擁する世界でも類を見ない大都市圏の中心です。政治・経済・文化など、多様なサービス・産業の集積をベースに、大規模で安定感と信頼感のあるマーケットが構築されており、世界の中でも高感度な消費者をターゲットにしたショーケース、テストマーケット的な機能を引き続き担っていきます。

多彩な魅力とイノベーションを創出するとともに、多様な人々と文化の交流の場や世界に羽ばたく人材を育成する場としての役割を果たす、包容力のある都市を目指します。

<都市空間における先端技術のショーケース化>



文部科学省は、日本の優れた技術・社会システムを国内外にアピールするため、先端ロボットが活躍する社会を体験できる場を創出するなど、先端技術のショーケース化を推進しています。

(出典)「第1回ユニバーサル未来社会推進協議会」資料
(平成27年9月 文部科学省)

1 世界における役割

(2) 都市課題の先駆的な解決モデルを構築・発信する

東京は、世界に類を見ない急速な少子高齢・人口減少が進むことや切迫する大地震の予測など、大都市の課題やリスクが存在します。今後、東京がいち早くこれらの解決策を見出し、世界の範となるべくモデルを示していきます。

また、東京は、これまで急速な人口増加に対応した計画的かつ効率的な都市基盤や市街地の整備などを進めてきた経験や、大気汚染やヒートアイランド対策など環境問題に取り組んできた経験があり、そのノウハウや技術を同様の課題を抱える都市で生かしていきます。

(3) 伝統と先進を融合させ、新たな価値を創出する

江戸開府以来 400 年にわたり培ってきた歴史や伝統と、最先端の技術や先鋭的な芸術を融合させ、東京ならではの個性として発揮し、新たなビジネスモデルや、成熟時代における都市やライフスタイルの在り方、文化的な価値を創出し、世界に発信していきます。

<東京ビッグサイトプロジェクションマッピング>



東京国際プロジェクションマッピングアワード実行委員会は、2016年に東京ビッグサイトの壁面を活用したプロジェクションマッピングの大会を開催し、将来のコンテンツ産業の中核を担う世界で通用する若手映像クリエイターの育成や、CG技術の高度化・普及を進めています。

2 日本における役割

(1) 日本の首都として経済活動の推進力を発揮する

人・モノ・情報が集積しているというアドバンテージを生かして時代の変化に対応した付加価値の高い産業・サービスを創出するとともに、ライフサイエンスやICT等の高次な機能を集積してくことにより、引き続き、経済活動の推進力を発揮し、日本の持続的な成長を支えていきます。

(2) 様々な地域と連携し、一層魅力的な日本を創造・発信する

日本の各地と東京とが、それぞれの持つ魅力を高めることはもとより、広域的な交通・情報ネットワークを活用し、産業、観光、文化などの面で交流・連携を深め、東京から日本全体の魅力を世界に発信していきます。

<東北六魂祭パレード>



東京新虎まつり実行委員会は、平成28年11月に虎ノ門で、東日本大震災からの復興を願ってパレードを開催し、東日本大震災から立ち上がった東北の姿や、世界に誇る日本の魅力のある伝統文化を発信しました。

(出典)第4回「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議」経済産業省資料
(平成28年12月 首相官邸)